



学校だより

郡山市立海老根小学校
第19号
令和7年10月2日(木)
文責:校長 宗像善吉



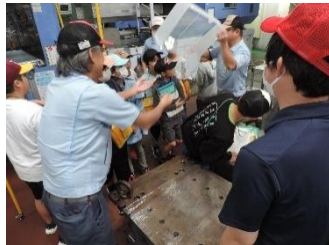
工場見学・白河歴史探訪



9月26日(金)には、全校生で白河方面に体験学習に行ってきました。8時15分に学校を出発した一行は、バスに乗って最初の

目的地である天馬(株)新白河工場に向かいました。天馬(株)は、主に衣装ケースの製造を行い、ニトリやLIXIL ビバなどで販売される商品を作っているそうです。もしかするとご家庭にもいくつかあるかもしれません。

工場を案内していただき、出来立ての衣装ケースの箱に触らせていただくと、ケースは温かく、コンピューター制御で自動で動く何千万円もする機械は、何トンもの力を加えられる立派なものでした。子どもたちは、工場の方の説明を真剣に聞いたり動く機械の様子をじっくり見たりしていました。私も子どもたちと同じように興味深く見入ってしまいました。工場見学の後、部屋に戻り質問を聞いていただいたり実際にミニ衣装ケースを組み立てたりしました。衣装ケースは、お土産としておうちに持ち帰りました。



天馬(株)新白河工場の見学を終えた一行は、「白河の関」に向かいました。白河の関では、隣にある公園で昼食をとりました。公園内には遊具もあって、子どもたちは公園の遊具で汗をかきながら仲良く遊ぶ姿が見られました。



少し遊んだ後に「白河の関」に向かいました。「白河の関」といえば奈良時代から平安時代頃に機能していた

国境の関で大変有名です。高校野球で3年前に仙台育英高校が東北勢として初めて全国優勝した時に、優勝旗が「白河の関」を超えたと言われ、関が一段と有名になりました。



「白河の関」で古の文化に触れた一行は、NHKの大河ドラマでも取り上げられている松平定信の居城小峰城に向かいました。まずは、小峰城歴史館でパ

ネルやジオラマ、モニター映像などで、小峰城の歴史を学びました。展示室には、白河藩にかかわる様々な展示物があり、当時の文化について学ぶことができました。小峰城の歴史を学んだ後は、実際にお城に登り、白河の街並みを見てきました。三層の天守は鶴ヶ城のように大きくはありませんでしたが、戊辰戦争の鉄砲の弾痕や敵から城を守るための工夫がいろいろなところに見られ、社会科で日本の歴史を学習する6年生にとって、実際に肌で感じる事ができたのはとても有意義だったようです。

海老根紙漉きの話

9月25日(木)の5校時に品竹悦子先生をお招きし、海老根フェスティバルで発表する「海老根和紙漉き」の語りの練習を行いました。品竹先生からは、語り方はとても上手になったとお褒めの言葉をいただきました。また、語り以上に大切なのは、所作という話もいただきました。先生によると、中身よりも一つ一つの所作で相手への伝わり方が変わるということでした。座布団を持ちながらステージに上がり、座布団に座ってお辞儀をしてから語りを始める。一見簡単だと感じることも奥が深く、座



布団の持ち方、座布団への上がり方、お辞儀の仕方など、細部まで所作があり、教えていただきました。

海老根フェスティバル当日まで、練習して身に付けてほしいとのことでしたので、これから1日1回、お家でも「おはようございます」と手をついてお辞儀の練習ができるようご協力いただければ幸いです。また、語りで使う衣装の半纏(はんてん)もありましたらご準備いただければ幸いです。詳しくは担任までお問い合わせください。